

東京都立大学大学院法学政治学研究科

法学政治学専攻政治学分野

博士前期課程 外国人特別選抜 入学試験問題

2025 年 2 月 11 日実施

論文

[受験上の注意]

- (1) 机の上に出しておいてよいものは、受験票・筆記用具・消しゴム・時計（アラームの鳴らないもの）だけです。それ以外のものを出しておきたい場合は、手を挙げて監督員に確認してください。
- (2) 試験中は、監督員の指示に従ってください。
- (3) 解答始めの合図があるまでは、問題冊子を開かないでください。
- (4) 不正行為をおこなった場合は、その時点で受験をとりやめさせ、退室させます。
- (5) 答案用紙には、解答に関係のないことを記入してはいけません。また、答案用紙を切り取ってははいけません。
- (6) 問題冊子に不鮮明な箇所があった場合には手を挙げて監督員に知らせてください。
- (7) 解答が答案用紙のおもて面に収まらないときは、うら面を使ってかまいませんが、答案用紙の追加はできません。
- (8) 試験中に気分が悪くなったり、トイレに行きたくなったりした場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。

[解答上の注意]

- ・ I と II はそれぞれ別の答案用紙に解答しなさい。
- ・ 各答案用紙の最初に、解答する問題番号を「I」などと記入すること。

注意：共通問題と選択問題は、それぞれ別の答案用紙に解答すること。

I、共通問題：以下について論じなさい。

戦争と民主主義

II、選択問題：以下の（１）～（８）からひとつ選んで論じなさい。

（１）平田篤胤

（２）ストア派の自然法思想

（３）コミットメントとしての民主化

（４）経済的（不）平等と民主化

（５）衆参両院の比例代表選挙

（６）対華 21 カ条要求

（７）中央地方関係における融合と分離

（８）イギリスの中東政策と第一次世界大戦への参戦

<出題意図>

- ・ 共通問題：政治学の基礎概念と方法論を用いて、現代政治の主要論点について論理的に記述できる能力を問う。
- ・ 選択問題：入学後に専攻する政治学の諸分野における主要論点について、それ固有の方法論、概念、背景知識に基づいて論理的記述できる能力を問う。